

令和7年第1回さくら市議会定例会一般質問順番

令和7年2月27日（木）午前10時～ 4人

質問順番	質問者名
1 番	岡村 浩雅 議員
2 番	加藤 誠一 議員
3 番	若見 孝信 議員
4 番	大河原千晶 議員

1. 認知症の人に寄り添った地域社会の構築について

- ① 認知症に関する知識及び認知症の人に関する理解を深める取り組みとして、認知症サポーター制度があげられる。この制度の取り組み状況、市民の理解度について。
- ② 認知症の人の尊厳ある暮らしを守るケア技法であるユマニチュードを普及啓発したらどうか。
- ③ 認知症患者の徘徊の現状、及びQRコードを利用した早期発見体制について。
- ④ 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が2024年1月1日に施行された。その中で、市町村には、認知症施策推進基本計画策定の努力義務が課された。上記①②③の視点を踏まえ、本市での作成の考えは。

答弁を求める者 市長

2. 災害時の避難所運営について

- ① 2016年4月に策定された国の避難所運営ガイドラインの中で、参考にすべき国際基準として「人道憲章と人道支援における最低基準」通称「スフィア基準」が明記されました。達成度を図るための指標として、「1人1日当たり最低15リットルの水を確保」「1人当たりの居住空間は最低3.5平方メートル」「トイレは20人に一つ以上、男女比は1対3」のほか、プライバシーの確保などがあげられます。そこで本市の現状、これら指標の達成に向けての考え。
- ② 内閣府の避難所運営ガイドラインでは避難所運営委員会等を設置し、女性がリーダーシップを発揮しやすい体制を確立することや避難所の運営において女性の能力や意見を生かせる場を確保することが示されています。男女共同参画の指針では避難所運営のリーダー・サブリーダーを3割にすることを目標とし、自治体職員の防災担当職員に女性を積極的に登用することが示されています。そこで本市の現状、今後総務課危機管理係への女性の増員の取り組みについて。
- ③ 女性や子ども、高齢者が必要としている備蓄用品の状況および今後の取り組みについて。

答弁を求める者 市長

1. さくら市の将来展望とシナリオについて

課題山積する中、第3次総合計画策定の取り組みについて一般質問した際、市長は「身の丈に合った展望で多くの課題に的確に向かい合えるよう重点施策を設定する」と答弁されたが、身の丈に合った展望とは。またそのシナリオをどう描くのか。

答弁を求める者 市長

2. さくら市学校教育におけるD X取り組みにおける現状と課題について

学校教育現場においてD X教育の取り組み状況と課題をどう認識し、今後どのように対応するのか。

答弁を求める者 教育長

1. 市長就任後の2期目を振り返って

- ① 市長が公約として掲げた各項目に関して、その実績と達成度及び評価をお伺いしたい。

基本理念、あるいは将来像を守るためにどのような施策を実施したのか。農商工、教育、子育て、医療・福祉及び魅力向上等の項目において具体的に挙げた目標を守るためにどのような事業を企画立案しどのような成果があったか。

また、不十分だった部分を含めて率直に伺いたい。

- ② 任期中に遂行した施策・事業の中で、成果があったと思われる事業は具体的にどんなものがあるか。

また、一問目での反省も踏まえて、今後、力を入れていきたいと考えている分野や新規に起こしたいと考えている事業があれば伺いたい。

答弁を求める者 市長

2. おくやみコーナー開設について

少子高齢化社会がさらに進む中で、身近な人が亡くなった際に、行政手続きをスムーズに行える「おくやみコーナー」が栃木県内自治体で開設されている。

隣の高根沢町や最近では矢板市が開設した。

さくら市も行政サービスとして開設の方針はあるか伺いたい。

答弁を求める者 市長

1. さくら市の農業について

- ① さくら市の食料危機への対策はどう考えていくのか。
- ② 災害・有事の際の食料供給は。
- ③ 市内の自給率を上げていく方策は。その上で、耕作放棄地などの対策はどう考えるか。
- ④ 食料供給困難事態対策法の施行受けて特に大規模ではない農家を守っていく方策は。
- ⑤ 土地を守っていかなければならないという観点からソーラーパネルについての規制は。

答弁を求める者 市長

2. ひとり親家庭の支援について

- ① 離婚成立前後の相談支援について
- ② 養育費確保支援策について

答弁を求める者 市長